

校長のつぶやき II

校長室便り 第44号

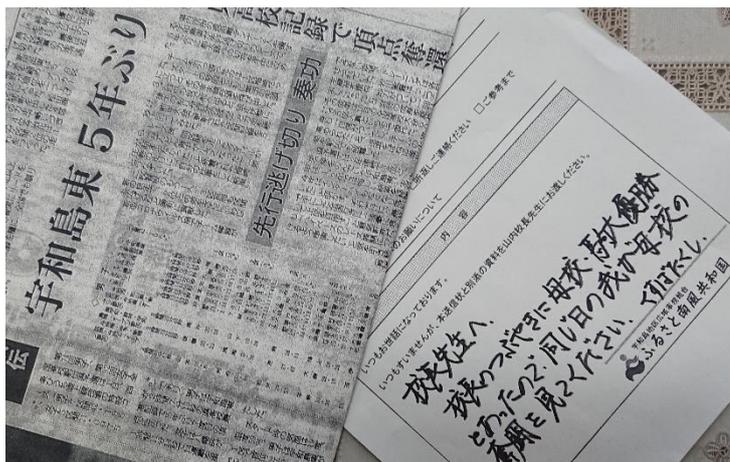
令和2年11月10日 山内

○学校への電話 ―地域の方々から「良い電話」「悪い電話」―

事務室にある「学校電話」がなります。対応するのは、大場副参事兼事務室長、小野寺事務次長、そして主事の佐藤さんです。私も行政時代に何年か電話取り次ぎを経験しましたが、岩高事務室の電話対応は「学校の顔」「学校の玄関口」として模範的なものだと確信しています。欠席遅刻等の連絡に始まり、関係諸機関からかかってくる電話は1日数十本。中には少し離れていても聞こえるくらいの大声で、学校への苦情の電話もあります。昨日、11月9日（月）はお礼、おほめの電話でした。岩出山町内のお菓子屋さんの前で財布を拾った岩高生がお菓子屋さんに財布を届けてくれ、その後持ち主が店を訪れ財布が無事に持ち主に戻ったということ。財布を落とした方は大変感謝しておられました。財布を届けてくれたのは岩高の3年生男子です。あえて名前は公表しません。ボランティアとは名声を得るために行うのではないからです。

このつぶやきをお読みいただいている地域の方々がいらっしゃるのであれば、どうぞ何か学校についてお気づきのこと等、ご意見をお聞かせください。厳しいご意見こそお待ちしておりますが、それでも何か岩高生の活躍があれば教えていただければ幸いです。

○届いたファックス ―宇和島市役所牛鬼保存会会長 楠葉 拓史さん―



スマートフォン、SNS 最盛期の世の中ですが、ファックスの方が、味が出る場合もあります。昨日、昨年の政宗公まつり以来お近づきさせていただいている、宇和島牛鬼会の会長さんからファックスが届きました。以前のつぶやきで、我が母校駒澤大の駅伝のことを綴りましたが、今回は楠葉さんの母校・宇和島東高校が5年ぶりに高校駅伝で優勝したご報告のファックスをいただきました。その後、電話で近況報告をし合い、コロナ事等じっくり話しをさせていただきました。いつ話しても本当に熱くて、ユーモアに溢れて、幅広い知識を持たれていて人間的

に魅力ある方です。昨年の今頃は、わざわざ今野龍太先輩のキャンプ地松山まで応援に行っていた方です。コロナが終息し、再び政宗公まつりでお会いできる日を待ちます。忘れ難き出会いです。

○米国新大統領の思い出 ―あの時被災地を訪問―

米国大統領選挙に関するニュースがここ日本でも連日のように流れています。選挙に投票できる年齢が日本でも18歳になりましたので、3年生だけでなく、1・2年生の皆さんも選挙には興味を持たなければなりません。さて、昨日勝利宣言をしたジョーバイデンさん。この人のことは良く覚えています。震災直後の夏、当時米国副大統領だった彼が、名取美田園仮設住宅を訪問し、被災地の皆さんを励ましたことです。その仮設の目の前に新設された新総合教育センターに私は次の年から勤務しましたから仮設住宅の記憶は鮮明です。あれから十年。仮設はなくなりましたが、心の復興はまだまだの方々は多くいます。実は私もまだしっかりと心のけじめはできてはいません。震災のことをつぶやいてもまだ他人事の岩高生や職員の方々もいると思いますが、だからこそ私は自分事にしてもらえるよう震災のことを伝え続けて行きます。定年まで残された僅かな時間、私の使命です。ではこれで今回のつぶやきはお終いです。